

平成18年5月22日

事務局案への意見

山上 皓

概ね適切と思いますが、「検討すべき論点の整理表（素案）」中の記載において、以下の2点について、修正を試みていただきたいと思います。よろしくお願い致します。

< 1 > 基本計画中の規定

（関連する要望）

被害少年の家族に対する学校側の対応、とくに被害少年が死亡した場合のそれには、大きな問題があることが指摘されていたと思います。学校側の、被害少年の尊厳、遺族の心情への配慮を求める施策に関して、少しでも触れていただければと思います。

< 2 > 基本計画に盛り込まれていない事項

（関連する要望）

民間援助団体を、国による財政支援のもとで、支援ネットワークの中核として育成していただきたいという要望を、山上は全国被害者支援ネットワークの代表として提案したつもりです。短くて（抽象的な表現でも）結構ですが、書き込んでいただけませんか、

（論点に対する検討方針）

民間被害者援助団体は、警察から独立した存在で、実施する犯罪被害者支援活動も多彩です。警察との連携を大切に、「早期援助団体制度」を活用しようという姿勢にはありますが、その他の連携も多様で、その枠内に収まるものではありません。

被害者のニーズを最も適切に把握し応えられるような民間援助団体の育成を第1とし、その際に警察の施策を活用するという印象の表現に書き改めていただけませんか。